



社協だより

平成30年12月20日
No.79



さと原人 バルーンアート・ パフォーマンスショー



11月17日、仁摩農村環境改善センターにおいて、「さと原人さんのバルーンアートパフォーマンスショー」をしていただきました。この催しは、大田市の子育て支援事業の補助金を受けた大田市民生児童委員協議会が主催されました。

市内の子育て中のご家庭へ民生委員児童委員、主任児童委員の皆さんが、家庭訪問等により案内され、当日は、210名余りのお子さんと保護者の方々にご来場いただきました。

さと原人の愉快なトークとバルーンアートは、ご来場の皆さんと一緒に盛り上がる参加型のライブで、笑顔の溢れる楽しい時間を過ごすことが出来ました。子育て中のご家庭を応援したいという民生委員児童委員、主任児童委員の想いが伝わったのではないかと思います。



大田市ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、ボランティアをしたいという方とボランティアをお願いしたいという方を繋げたり、ボランティア活動に取り組んでいる方や興味のある方等を対象にした交流会を開催するなど、ボランティア活動者とともに大田市のボランティア活動の推進に取り組んでいます。



リフト付自動車運転ボランティアを募集しています!!

大田市社会福祉協議会では、在宅で生活しておられ、外出に車イスを必要とされる方の社会参加を促進するため、車イスに乗ったまま外出することができる「リフト付自動車運行事業」に取り組んでいます。この事業は、自動車の運転及びリフトの操作を行うボランティアのご協力により成り立っています。

社会福祉協議会が行う車輛の基本操作（運転及びリフト操作）に関する講習を受けていただいた方であれば、どなたでも活動していただけます。講習は随時行っておりますので、ご関心のある方（「どんなことをするのか?」「何をすればいいの?」と思われた方）は、下記までぜひ一度お問い合わせください!



大田市災害ボランティアセンターは閉鎖しましたが、活動は継続中です!

- 屋根のブルーシート張り
- ブロック塀の撤去
- 室内の片付け などなど

ボランティア活動者の方まだまだ募集中です!

合言葉 「できることを・できるときに・できるだけ」



お問合せ

活動日や活動内容、募集人数は大田市ボランティアセンターまで
0854-82-0091

災害やくらしのお困りごとは

ふくしよろず相談窓口

をご活用ください!!

暮らしや生活に関する「困りごと」や「悩みごと」で『どこへ相談したら良いか分からない』という方
1人で抱え込まず、まずはご相談ください。
みなさんのこれからを一緒に考えます。



お問合せ **0854-84-7577**

平成30年度 移動介助ボランティア 養成講座を開催しました

この講座は身体障がい（視覚障がい、肢体不自由）についての基礎知識及び移動介助に必要な知識及び技術を習得するとともに、障がい者の社会参加への理解を深め、修了後は移動介助ボランティアとして活動していただくことを目的として毎年開催しており、今回は石見銀山世界遺産センターを会場に石見銀山の歴史に触れながら、学びと交流を深めました。

ご参加いただいた皆さまからは、「楽しく学ぶことができた」「また機会があれば参加したい」などのご感想をいただきました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。



大田市社協では年間で様々な内容の講座とボランティア活動の推進を行っています。
詳しくは大田市社会福祉協議会（☎0854-82-0091）までお問合せ下さい。

生活福祉資金 貸付制度のご案内

低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対して、民生委員や社会福祉協議会が協力して、その世帯の自立を図ることを目的とする貸付制度です。

総合支援資金	失業などで日常生活に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援を行い生活費などを貸し付ける資金
福祉資金	低所得世帯、障がい者世帯または高齢者世帯で、日常生活を送るうえで、または自立生活に資するために一時的に必要な経費を貸し付ける資金
緊急小口資金	緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける資金 10万円以内
教育支援資金	低所得世帯に対し、高等学校などへ就学するのに必要な経費を貸し付ける資金 ●教育支援費 (1)高等学校（専修学校高等課程を含む） 月額3万5千円以内 (2)高等専門学校 月額6万円以内 (3)短期大学・専門学校（専修学校専門課程を含む） 月額6万円以内 (4)大 学 月額6万5千円以内 ●就学支度費 入学に必要な経費 上限50万円
不動産担保型生活資金	低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金

- ◆返済期間、貸付金利子、貸付限度額などは資金の種類により異なります。
- ◆資金別の要件や世帯収入の基準があります。また、他制度の利用が優先される場合があります。
- ◆経済的自立を支援するため、世帯の家計状況等について詳しく伺います。
- ◆資金の種類により、借入相談～貸付が決定するまで約1～2ヶ月かかるとともに、審査結果によっては貸付できない場合があります。

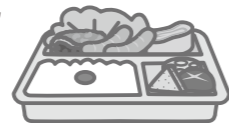
問合せ先 生活サポートセンターおおだ ☎0854-82-0820 または本所・各支所

福祉でまちづくり シリーズ

五十猛地区社会福祉協議会

五十猛町敬老会の開催

9月30日に予定をしておりましたが台風の為に中止をいたしました。参加予定の方々にお弁当とお茶菓子を福祉委員さんに配っていただきました。また、米寿6名の方にお祝いの品をお渡ししました。

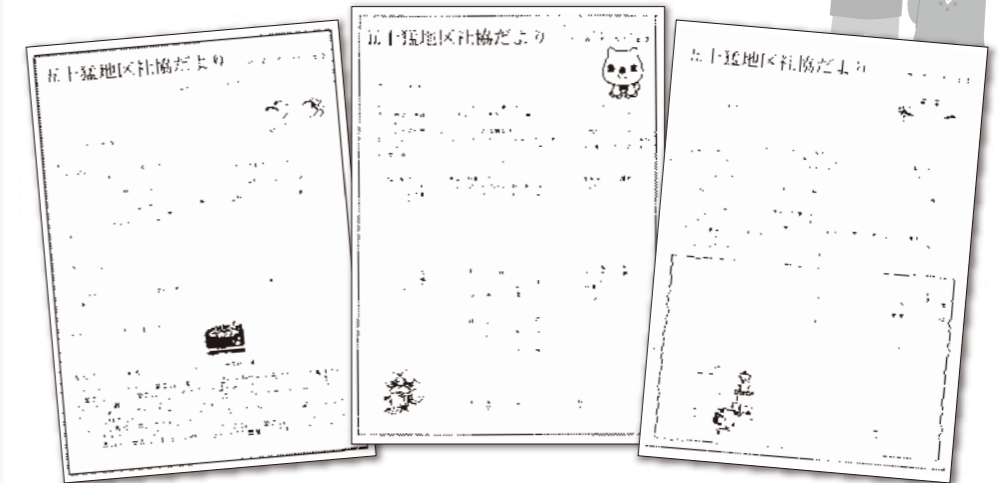


平成30年度の事業について

- 敬老会の開催
- 第57回五十猛町青少年健全育成大会の開催
- 社協だよりの発行
- 高齢者対策事業「介護をしている方の会」の開催
- 各団体助成事業
- 地域介護予防活動支援事業 等

社協だよりの発行

毎月発行し全戸配布をしています。



第57回五十猛町青少年健全育成大会の開催

10月28日、五十猛小学校を会場に開始しました。

「地域の絆を深めよう！」と題して大分観光特使の矢野大和氏に講演をしていただき、その後「ふるさとドッジボール大会」を開催いたしました。



高齢者対策事業「介護をしている方の会」の開催



7月8日、年をとっても、自宅で生活し続けるために大切なこと（訪問リハビリで働く立場から）実践的なトレーニングの仕方など分りやすくお話いただきました。12月1日、日本舞踊・ひょっこり踊りをみて楽しんでいただきました。



シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

募集

シニアクラブ 活動推進研修会

去る9月20日、市民センター4階に於きまして、各単位クラブから77名の参加を得て、活動推進研修会を開催いたしました。

今年4月、大田市東部を震源とする地震が発生し、身近に自然災害の怖さを知り、被害も大きく大変でした。



市シニアクラブでは、「防災・減災の対策について」をテーマに、大田市役所・危機管理室課長 藤原和弘氏よりお話をいただきました。自分達でできる最小限の防災・声掛け・減災と日頃からの準備の大切さを理解するとともに、皆さん一生懸命に耳を傾けて居られました。



温泉津ブロック福祉大会

10/19(金) 温泉津まちづくりセンター



仁摩ブロック福祉大会

11/16(金) 仁摩農村環境改善センター



受賞おめでとうございませう

島根県各種功労者表彰式

【島根県各種功労賞】

知事賞受賞
福吉会(川合町)



11月22日授賞式出席

島根県老人クラブ連合会 まめなかいしまねグラウンド・ゴルフ大会

11/15(木) 出雲ドーム

●参加チーム 66チーム ●参加者 264名

＜成績＞	第3位	大田ことぶきチーム	
	最高齢賞(男性)	見戸新三郎	最高齢賞(女性) 竹下ミヨ子

※最高齢賞は参加者全体の中で、男女とも“久利寿会”から該当者がいました。



囲碁・将棋大会

11/9(金) 市民センター4階

＜成績＞

	優勝	準優勝
囲碁A級	林 紀行	中村 隆実
囲碁B級	門谷 省吾	原 一弘
囲碁C級	渡辺 博信	青杉 明信
将 棋	大場 武文	佐藤 潔



行事予定

芸能大会

平成31年2月14日(木)
市民会館大ホール 午前10時から

福祉展

平成31年3月2日(土)・3日(日)
市民センター4階 午前10時から

ずっとつながる

大田市シニアクラブ連合会

〒694-0064
大田市大田町大田イ128番地
TEL 0854-84-0266
FAX 0854-82-9960

月曜日・木曜日
8:30~17:00(祝日休)

「ホッとつながる」



ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます

(平成30年10月～平成30年11月受付分順不同・敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

○香典返し寄付

大田	松浦	博明	岩佐	慶信
川上	恭治	熱田	純一	
藤井	好子	川上	勇夫	
石田	久敏	石橋	貞夫	
長岡	巧	松本	康明	
押越	正雄	松本	文子	
尾崎	明美	矢ノ目	俊美	
大國	利文	和田	健	
朝山	秀範			
波根	賢一	岩谷	芳信	
久手	康司	荒木	美彌子	
	立雄	山田	春雄	
	謙一	福田	博次	
	杉谷	杉谷	律夫	
	野尻	充	土江	利之
	岩谷	清子		
	伊達	房好	赤松	保久
	梅木	清	細田	健太郎
	尾崎	道子	川原	清子
	岡田	正徳		
	山本	昌範		
	岩根	徹也	波多野	繁
	夏野	一成		

水上 木建 悦子
祖式 和田 耕介
温泉津 砂田 要 小林 洋子
仁摩 大谷 健二 縄 忠

○一般寄付
田原歌謡グループ・幹舞S
久手 西村 俊二

○災害活動への寄付
大田 幡 仙三

「鳥取県西部地震から18年フオーラム」参加者
イオンリテール株式会社
株式会社ジュンテンドー

○食品・学生服等の寄贈
大田市役所総務部危機管理課
大田市立長久小学校PTA

他多数の方々にご協力いただきました。

以上、711,020円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブ、ペットボトルのキャップも多数いただきました。

地域福祉活動助成金のお知らせ

平成30年度 山陰中央新報社会福祉事業団 「愛のともしび募金」助成事業

助成内容

地域の福祉推進に寄与し、平成31年3月31日までに終了する事業（備品の整備も可）

対象団体

地域において福祉活動を行う鳥根県内の団体（NPO法人、住民組織、住民参加型市民活動団体、福祉団体、ボランティア団体等）

助成金額

1団体あたりの助成額は原則10万円を限度として、15団体程度を予定

申請締切

平成31年1月15日(火) 必着

(大田市社会福祉協議会受付分)

くわしくは大田市社会福祉協議会地域福祉課
(☎0854-82-0091) までお問合せください

義援金へのご協力 ありがとうございました

平成30年10月～平成30年11月受付分(順不同)

寄付者一覧 ※ご承諾をいただきました方のご芳名等を掲載させていただきます。

平成30年7月豪雨災害義援金

- ・にまごいせ祭り実行委員会
- ・三瓶町小屋原自治会

平成30年大阪府北部地震災害義援金

- ・大田市役所設置義援金箱

本会にお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送られます。

編集後記

今年には日本各地で地震、台風、豪雨と大きな自然災害に見舞われました。大田市でも4月9日に地震が発生し、土砂崩れや道路の亀裂、断水や家屋の損壊など甚大な被害をもたらしました。そんな中、多くのボランティア活動の様子が身近で見られているうちに、ふと「自分ができることは何か」を考えるようになり、するどくタイムリが重なり、以前から関心のあったボランティア活動にトントン拍子で加わることに。活動は技術が伴う内容なので教えてもらうことばかりで失敗も多いのですが、充実した時間を過ごしている感覚をおぼえます。私事ですが、震災をきっかけに新たな一歩を踏み出した気持ちです。

新しい年が笑顔のあふれる年となりますように。(とも)